

議会だより

<https://www.town.kawamata.lg.jp/site/gikai/>



12月議会報告

(定例会・臨時会報告)	2~6
一般質問	7~15
議会アンケート結果	16~19
全員協議会レポート	20~21
委員会報告	22
まちれぽ	23
町民の声	24

令和4年 **2**月1日 発行

予算を慎重に審議

臨時会3回、定例会1回開催

令和3年9月以降、11月2日に第6回臨時会、29日に第7回臨時会、12月2日から8日までの会期で第8回定例会、さらに21日に第9回臨時会が開催されました。いずれも一般会計補正予算が提案され、合計で4億9291万3千円の増額予算が可決となり、総額は99億9356万1千円になりました。

今号は、12月議会定例会と臨時会で決まった内容についてお知らせします。

一般会計総額は
99億9356万1千円

※12月21日臨時会時点

12月議会ほか臨時会で決まった主な予算

タクシー等、卸小売等の小規模事業者に対する支援 (第6回臨時会)

コロナ禍で減収となった従業員5人以下の小規模事業者等に対し、家賃等を支援



3480万円

川俣シャモ減産に対する支援 (第6回臨時会)

コロナ禍で減産となった川俣シャモ1羽につき500円を交付



1250万円



米価下落に対する支援 (第9回臨時会)

コロナ禍等の影響で、大幅に下落した主食用米
1袋(30kg)あたり300円を交付



240万円

小規模医療・福祉事業者への支援 (第9回臨時会)

コロナ禍で減収となった従業員5人以下の医
療・福祉事業所に対し、家賃等を支援



1050万円

福祉灯油購入費の助成 (第9回臨時会)

町民税非課税世帯の負担軽減のため1世帯につ
き5000円分の灯油券を配布



850万円

子育て世代への臨時特別給付金 (第8回定例会・第9回臨時会)

コロナ禍の子育て世帯に、18歳以下ひとり
につき一律10万円を現金で給付する給付金



合計 1億2000万円



主な議案と質疑応答

予算の補正

●議案第104号

(12月定例会)

令和3年度一般会計補正予算

【概要】歳入歳出それぞれ1億7211万円を追加し、総額を97億1723万2千円とするもの。

質問

①飯坂小学校閉校記念碑整備事業が計上されているが、そのほかの小学校では行わないのか
②地域魅力向上発信事業の委託料の内容は。
③移住定住促進事業の委員報酬の内容は。
(高橋清美議員)

答

①飯坂小学校分は、飯坂財産区会計から繰り入れて支出する分を予算計上しました。その他の廃校になる学校でも趣向を凝らした催しを検討しており、町で予算化した金額のほかにかかる分を

会費などで対応しています。
(学校教育課長)

②復興庁が主催し、大阪市内でPRイベントを行う経費です。

③地域に精通している方、先輩移住者など12名で組織する委員の報酬です。
(産業課長)

●議案第110号

(12月21日臨時会)

令和3年度一般会計補正予算

【概要】歳入歳出それぞれ2億7632万2千円を追加し、総額を99億9356万1千円とするもの。

質問

米価下落に対する支援として、事前に開催された総務産業委員会では、30キロ当たり3000円の支援策に対し、委員会からはキロ当たり1500円を要望していた。しかし、今般、何ら説明も改善もなく議案として提案された。今後この

ような対応をするのか。
(菅野清一議員)

委員会から提案された内容については、自分としても十分に協議させていただき、結果としてこのような議案提案となった。その経過について、委員会に伝えないまま提案してしまった。今後このようなことのないよう気をつけます。協議については、国、県、JAからの支援やコメ政策の現況を踏まえ、決断させていただいた。(町長)

質問

①桑折町が経営所得安定対策を行っているが、町ではこの事業を行う農家は何人か。
②個人で縁故米を販売している数は把握しているのか。
(高橋清美議員)

答

①桑折町での経営所得安定対策は、飼料米作付に係るもので、当町では給付の対象外です。飼

料米作付の生産者は19人です。

②今回の補助事業の対象外としています。縁故米の把握は情報がなく把握できません。
(産業課長)

質問

コメ生産は農業の基本である。金額としては少ないと考える。
(石河ルイ議員)

答

コメ生産、政策の現況を鑑み、この支援を決定しました。
(町長)

質問

子育て世帯臨時交付金の支給は、令和3年12月と令和4年1月以降に分けて支出されるようだが、年度内に完了するのか。
(佐藤喜三郎議員)

答

満15歳以下の児童手当支給対象の世帯と、高校生等の世帯とで、支出する時期は異なりますが、年度内完了の予定です。
(子育て支援課長)



価格暴落により稲作農家の減少が懸念される

11月～12月に開催した議会審議結果

議案	件名	審議結果
11月2日開催 第6回議会臨時会		
第93号	令和3年度川俣町一般会計補正予算（第4号）	可決（全会一致）
11月29日開催 第7回議会臨時会		
第94号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第95号	川俣町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第96号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第97号	令和3年度川俣町一般会計補正予算（第5号）	可決（全会一致）
第98号	令和3年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決（全会一致）
第99号	令和3年度川俣町介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
12月2日～8日開催 第8回議会定例会		
第100号	動産の取得について	可決（全会一致）
第101号	福島県新産業創出等推進事業促進計画に基づく町税の特例に関する条例	可決（全会一致）
第102号	福島県特定事業活動振興計画に基づく町税の特例に関する条例	可決（全会一致）
第103号	川俣町減債基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第104号	令和3年度川俣町一般会計補正予算（第6号）	可決（全会一致）
第105号	令和3年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	可決（全会一致）
第106号	令和3年度川俣町介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決（全会一致）
第107号	令和3年度川俣町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
第108号	令和3年度川俣町工業団地造成事業特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第109号	令和3年度川俣町飯坂財産区特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
12月21日開催 第9回議会臨時会		
第110号	令和3年度川俣町一般会計補正予算（第7号）	可決（全会一致）

● 12月定例会請願審査結果 ●

受理番号	付託委員会	件名	請願者住所及び氏名	紹介議員氏名	審査結果
1	総務産業 常任委員会	事故多発交差点ほか、交通事故防止と安全対策に係る請願書	川俣町大字鶴沢字 川端30-19 櫻井 英夫	高橋 清美 山家 恵子	採択

議員提案

12月議会定例会における議員提案は1件で、次の意見書を関係機関に送付しました。

米価下落に対する緊急対策を求める意見書

令和2年産の主食用米については、人口減少等による需要減少に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う業務用米の需要減少等により、適正水準を大幅に超える過大な在庫が生じている。

国は、各産地で主食用米の作付け転換に取り組んだ結果、需要均衡に必要とされる過去最大規模の6万7千ヘクタールの転換がほぼ達成されたとしたが、これはコロナ禍による予期せぬ需要減少まで見込んだものではなく3年産米の作柄によっては、更なる在庫の積み増しが懸念される。更に、コロナ禍で米の需要低迷が長期化する中、2年産米がこの秋以降に持ち越されれば、3年産米の需給緩和と米価下落は避けられず、4年産作付け転換への上乗せも懸念される。

コロナ禍による需要減少は産地の努力で対応できる範囲を超え、需給緩和と米価下落が農業者へ与える影響は深刻なものがあり、当町農業への影響は甚大である。

よって、国においては次の事項を確実に実現されるよう強く要望する。

- 1 買入枠拡大等を含めた政府備蓄米制度の運用改善等あらゆる政策を総動員し、国が責任をもって市場隔離を実施すること。
- 2 米価下落により減収となっている主食用米の生産者に対して、持続可能な経営支援を行い、米の保管場所確保に向けて倉庫の新設や低温倉庫の改修に係る支援策を講じるとともに、出来秋に向けた出口対策をさらに強化・拡充すること。

3 欧米並みの食糧支援制度を創設し、困窮する生活困難者や学生に対し、過剰米を有効活用し、食糧支援の強化及び過大な在庫の適正化を実現すること。

4 米の消費量は約25年で3割程度減少したほか、コロナ禍により10万トンの需要が消滅した。これら国産米の需給状況に応じて、ガット・ウルグアイ・ラウンドで合意された77万トンの過大なミニマム・アクセス米の輸入を中止または縮小すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月8日

衆議院議長 細田博之様
参議院議長 山東昭子様
内閣総理大臣 岸田文雄様
外務大臣 林芳正様
農林水産大臣 金子原二郎様

福島県伊達郡川俣町議会

まちの課題を問う！

12月議会定例会の一般質問には8人の議員が登壇しました。



山家恵子 議員

8

- 子宮頸がん予防ワクチンについて
- 見守り支えあう地域づくりについて
- 福祉灯油事業への取り組みについて



蓮沼洋志 議員

9

- 新型コロナウイルス感染症について
- 移住定住促進事業について
- 羽田地区住宅団地造成について
- 急増する還付金詐欺について



新関善三 議員

10

- コロナ感染防止対策の強化について
- 子育て支援の更なる充実について
- 農林業の支援策について



石河ルイ 議員

11

- 介護について
- 高齢者の補聴器購入に助成を
- 福祉灯油の実施を
- 町の温暖化対策と実行計画は



菅野信一 議員

12

- 川俣町移住定住促進事業について
- 川俣町の地球温暖化対策について



作田善輝 議員

13

- 小学校統合に向けた取組について
- 小学校の統合で、残された学校や園の施設等の活用について
- 町道の整備状況について
- 川俣町における多文化共生の取組について



高橋清美 議員

14

- 道の駅の運営状況は
- 令和4年度における重点施策と予算は



村上源吉 議員

15

- 米価下落に対するの支援策を
- 町長の報酬カット分の使い道について
- 近畿、立命館、福島大学との連携による新産業創出について
- 町内全域にWi-Fi整備について

一般質問

質問席

一 般 質 問



やま が けい こ

山家恵子 議員

子宮頸がんワクチンの取り組みは

国の方針を受け実施します

質問

①国が子宮頸がんワクチンの積極的勧奨を再開するが、町の対応と接種者数は。②令和元年度と2年度の対象者数、接種者数は。

③積極的勧奨再開の際、全ての対象者に、国の方針が変わったことなど個別通知を出すべきと考えるが、町の周知方針は。④キャッチアップ制度導入の場合、今まで受けられなかった全対象者に速やかに個別通知すべきと考えるが、町の対応は。

②令和元年度の対象者は161人、接種者はゼロ。令和2年度の対象者は164人、接種者は2人でした。

③積極的勧奨が令和4年4月から再開されますので、個別に通知して勧奨します。④設定された予防接種期間を過ぎた方も後から接種できるようにする制度です。国の方針を受け対応します。

町長 ①令和3年10月に対象となる小学6年生から高校1年生178人にワクチン接種の通知を郵送し、そのうち17人が接種しました。



厚生労働省が作成したパンフレット
※QRコードは厚生労働省のページにリンクします



見守り支えあう地域づくりを

ネットワークで支援を進めます

質問

①民生委員の仕組みとその背景は。②民生委員、協力委員の活動内容は。

③高齢者のみの世帯に、民生委員を通じてお正月用品を届け、安否確認、見守り支援を行えないか。

町長

①民生委員法により、全市町村に配置されます。町の委員数は55人です。協議会を設置することとされており、町でも民生委員協議会を設置し、月1回の定例会のほか、支部長会議などを行っています。

②担当地区内の高齢者など、支援が必要な世帯を福祉票に記録し、相談対応、支援などを行っています。

③見守りのネットワーク作りを進めています。お正月用品については、情報収集し検討します。

福祉灯油事業への取り組みは

検討いたします

※12月8日時点。3ページをご覧ください。

質問

原油価格が高騰している。生活に困窮している町民に少しでも暖かく冬が過ごせるよう、福祉灯油事業を実施できないか。

町長 今般、原油価格が高騰していますので、支援を検討していきます。



12月21日に実施を決定した福祉灯油券

まちの課題を問う

新型コロナウイルス感染症への対応は

3回目接種を準備中です

質問

①3回目の接種はファイザー、モデルナの両方が受けられることになっているがどう対応するのか。

②コロナ禍で、仕事の減少や失職による生活保護を受けた件数は。

③住民税非課税の世帯は何世帯あるのか。

町長

①2回目までの接種と同様のワクチンが基本となりますので、町ではファイザー社製を予定しています。3回目接種期間に、これまで未接種の方も接種できるようにしており、また、対象年齢となる12歳を迎える方には、毎月接種の案内をします。

②令和2年度においては、コロナ禍の影響で1世帯1人の方が保護開始となっています。令和3年度では、これまでありませんでした。

③10月末時点で1689世帯です。

移住定住の進捗は

移住希望者から相談を受けています

質問

9月に移住定住の事務所を開設したが、その進捗は。

町長

11月末で県内外の39人から相談を受けています。内訳は、県外28人、県内11人です。そのうち町内の方が4人となっています。

情報発信として、パンフレット

羽田地区に住宅団地造成を

財源確保が課題です

質問

羽田地区は福島市に近く、農地が多い。農地付き住宅団地を造成できないのか。過去にも住宅団地造成を検討しましたが、いずれも事業費の財源に大きな課題があったことから実現しませんでした。宅地確保は重要なテーマの一つですので、引き続き検討していきます。

町長

トを9月に作成し配布しています。移住定住のホームページは12月に完成予定です。

地域おこし協力隊の採用は、令和1年月に体験ツアーを予定しています。また、県が開設した12市町村移住支援センターとも連携して、移住者の獲得を目指していきます。

還付金詐欺対策に防災無線を

被害状況により検討します

質問

県内で被害が相次いでおり、近隣で発生した場合、防災無線で呼びかけはできないか。

町長

防災行政無線は、放送基準を設け、災害などの緊急な場合や、選挙等の全国的なイベントなどの情報伝達に用いることとしています。消費者被害については、その被害状況により、全町民への注意喚起が必要と判断した場合に検討します。

防災無線の放送基準（抜粋）

※平常時に放送できる内容

- 1 時報チャイム
- 2 選挙の投票
- 3 大規模イベント
- 4 不審者情報
- 5 熊等の出没
- 6 突発的断水
- 7 その他（町長が判断）



はす めま ひろ し

蓮沼洋志 議員



にい ぜき ぜん ぞう

新 関 善 三 議 員

コロナ感染症対策の強化は

関係機関と連携して対応します

質問

五つの約束を掲げた藤原一二町長が誕生して早9か月、日々「顔の見えるやさしいまちづくり」に努力されている中で、令和4年度に向けた現況と、公約実現への具体的取組について質す。

①新型コロナウイルスの今後の接種方針は。

②事業者支援の実態と今後の対策は。

③川俣シャモ農家への支援策は。

町長

①町民のワクチン接種率は約90%です。未接種者に対しては、コールセンターで受付して町内医療機関で個別接種対応をしています。

②コロナ禍で直接、間接に影響を受け売上が減少した小規模事業者に対し、一時金を交付して

います。商工会や金融機関からも、お知らせしてもらつなど、協力していただいています。今後、国県事業と併せて、支援に努めます。

③コロナ禍によるイベントの自粛等により、川俣シャモ農家も深刻な影響を受けています。地域ブランドと、地域活力の維持のため出荷羽数の減産分について、給付金を支給します。

学校給食の無償化は

財源の確保等を検討中です

質問

少子高齢化の現況の中で、学校給食の無償化は。段階的に高齢者も対象に取り組めるような具体策はあるか。

町長

町長公約のひとつである給食の無償化については、財源の確保等、総合的な検討を

農林業の支援策は

地域で計画と共同作業を進めています

質問

①耕作放棄地への対策は。②米価が低迷し営農意欲が著しく低下している。その対策は。

町長

①国では、地域の農地の将来ビジョン「人・農地プラン」の策定を推進しています。本町では、山木屋地区、福田地区で既に完成し、現在、小

重ねております。一方、高齢者配食サービスについては、給食センターの運営が福島市と共同であることから、課題は大きいと考えています。



学校給食（特別献立）
小学校260円/中学校310円
年間約145千食分の半額補助を
全額にする公約です

島地区で策定が進められています。また、農地の貸し付け、集積・集約化を図るため「農地中間管理事業」を農業委員会等と連携して推進しています。さらに地域全体で農地等を維持管理する「中山間地域等直接支払事業」や「多面的機能支払交付金事業」などの共同作業で耕作放棄地の抑制を図っています。

②米農家の安定経営のため、「主食食用米から飼料用米への作付転換」「収入保険への加入促進」を推進しており、また、県で令和4年産の種子購入代金の助成を予定しています。町独自支援についても、早急に検討します。

まちの課題を問う



いし かわ

石河ルイ 議員

施設介護サービスへの対応は

負担軽減などに努めます

質問

①施設サービス等利用者の補足給付が削減されたが、その影響人数と救済措置は。②入所待機者数とその解消方法は。③在宅待機者への支援内容は。

町長

①令和2年8月から、施設サービスとショートステイ利用の際の食費に対する補足給付が見直され、収入があると思なされた方の自己負担の上限が、最大で1日当たり650円から1360円に増額されました。町での該当者は114人です。大きな経済的困難が生じた場合は、近隣市町村の動向を見ながら検討していきます。②③重複申込を含め、在宅での

待機者が27人、全体で152人ですが、比較的早期に入所できるようになってきています。ご本人と家族の負担を軽減できるようケアマネージャーが支援しています。

福祉灯油の実施を

検討いたします

※12月3日時点。3ページをご覧ください。

質問

①生活保護制度の中で支給されているのは何人か。②町として実施する考えは。

町長

①生活保護世帯は70世帯です。冬期加算として光熱費分が上乘せされる制度があります。②灯油価格の動向を注視し検討します。

高齢者の補聴器購入に助成を

検討を重ねます

質問

①町民健診で聴力検査を実施し、難聴者の把握を。②聴覚障害認定を受ける方法は。認定を受けるメリットは。③高額な補聴器購入に助成を。

町長

①聴力検査は、特定健診の必須科目にはなっており、近隣町村でも実施していない状況です。②医師の診断書を添付して県に申請します。障害者手帳が交付されると、等級に応じた補聴器の購入や修理の助成が受けられます。

③聴力検査を健診項目に加えないか等、独自の対応策について、検討を重ねます。

温暖化対策と実行計画は

「地域まるごと省エネ計画」で進めます

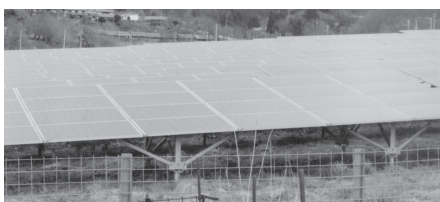
質問

①公共施設に設置されているソーラー発電数は。②住宅用発電設備の設置状況、普及数は。③太陽光発電の個人事業者は何か所か。④本町での温暖化対策は。⑤本町での再生可能エネルギー事業の取り組み計画はあるのか。

町長

①役場、公民館、小学校等で合計11施設あります。

②補助件数は249件で、対象外を含めればさらに多く設置されています。③公表されている発電事業計画数は、71件、そのうち個人が37件です。④⑤町全体で地球温暖化対策に取り組んでいくための計画「地域まるごと省エネ計画」により、再生可能エネルギー導入利用を促進します。



山木屋復興発電合同会社のメガソーラー



ちょうどいい 田舎暮らしを かわまたで

福島県から車で30分、東京から約2時間圏内。
川俣町は、「ちょうどいい環境」にあります。
周辺高山系の豊かな里山と清流に囲まれながらも、移住の利便性もあわせ持っている。
川俣町で、「ちょうどいい田舎暮らし」の夢を持てませんか？

町が作成した移住定住のホームページ

移住定住の取り組みは 県等と連携して進めます



かの しん いち

菅野信一 議員

質問

① 移住定住相談支援センター開所後の相談件数は、5年で200人の目標は達成できるのか。

② シティプロモーションはどのようなに行うのか。町長等によるトップセールスを検討してはどうか。

③ 移住セミナー、移住体験ツアーの実施計画は。県外から参加者に、県の交通費等補助金を活用しないのか。

④ 移住支援策の拡充は。

町長

① 11月末で県内外の39人から相談を受けています。目標を達成できるよう努めます。
② 「移住先といえば川俣町」といわれるよう、魅力の磨き上げを行い、パンフレット、ホームページの作成などを行います。

町の 地球温暖化対策は 計画に定めて推進します

質問

① 川俣町役場地球温暖化対策実施計画の取り組み状況は。

② 川俣町地域まるごと省エネ計画（案）の基本目標達成のため、各種施策等をどう進めるつもりか。福島議定書事業に役場も参加事業所として加わるべきではないか。

③ 町民及び事業者の理解をどのようにして求めるのか。啓発イベントを検討してはどうか。
④ 太陽光発電以外の再生可能エネルギーの活用推進とは何か。

トップセールスは、移住体験ツアーなどの場での実施を検討中です。
③ 県ほか関係団体が主催する移住セミナーに参加していきます。地域おこし協力隊希望者向けの体験ツアーのほか、福島大学農林サークル学生向けのモニター

町長

① 役場の業務執行における環境負荷軽減のための計画を策定し、取り組んでいます。平成25年度を基準年とし、令和12年度までに、温室効果ガスの排出量35%の削減を目指しています。

② 地域まるごと省エネ計画は本年7月に策定し、公表しました。関係団体等と連携・協力して各種活動に取り組めるよう体制作りを進めています。役場の事業所としての参加についても検討します。

③ 個人や事業者等がそれぞれ日常の生活や事業活動の中で、環境意識を高め、創意工夫し取り組んでいく必要があると思います。広報活動や、川俣シャモまつりなどのイベントに合わせて啓発イベントを検討していきます。

④ 今後、計画に基づき検討していきます。

ツアーを2月に予定しています。県の交通費補助金についても検討していきます。
④ 地域住民、移住者の先輩による委員会を立ち上げ、施策の拡充を協議検討していきます。

まちの課題を問う



さく た よし てる

作田善輝 議員

小学校統合に向けた取り組みは

概ね計画通り
進捗しています

質問

①統合に向けた取組の進捗状況は。

②現在の未整備事項、課題は何か。

③今後の対応は。

教育長

①校舎改修は概ね計画通り進んでいます。プ

ール改築が施工の見直しのため、完成が令和4年5月になる見込みです。

②体育館の改修を、令和4年度実施に向け進めています。

③小学校付近、登下校路の歩道区間をカラー舗装するほか、側溝の整備、スクールバス発着所の看板設置など、安全確保に努めます。

統合後の廃校舎等の活用は

町当局と総合的に
検討します

質問

①廃校舎、園の活用は。

②施設の管理運営はどうか。

③現状における課題は何か。

④今後の事業の進め方は。

教育長

①令和2年に関係者から、利活用のご意見をお聞きしました。今後は、町部局と連携して総合的に検討していきます。

②当面の間は、教育委員会で施設の維持管理をしていきます。

③公共施設として活用するか、民間活力により活用するか、など、情報収集に努めます。

④閉校となる小学校は、3月下旬に閉校式を行い、その後、施設の有効利用について検討していきます。

町道の整備状況は

財源の確保が
大きな課題です

質問

①現在の町道の整備状況は。

町長

①町道西方飯野線ほか、6路線を整備中で、計画的に実施しています。

②町振興計画に約80の町道整備を計画し、国庫補助金や起債など財源を考慮しながら進めています。

③財源、予算の確保が大きな課題です。

④国県補助金の対象となる路線か、また、国県事業に併せて実施できないかなどの事情が関係しますので、ご理解願います。

多文化共生の取り組みは

町当局と総合的に
検討します

質問

①町内在住の外国人の状況は。

②その方々への対応は。

③多文化共生の取り組みの課題は。

④今後の取り組み姿勢は。

町長

①10月末時点の外国人登録者数は、145人です。

②国際交流協会での日本語教室、料理教室などで相互理解に努めています。

③災害等の緊急事態の際の情報伝達などが課題です。

④外国人も住民として住みよい環境作りについて情報収集したいと思っています。

町内の外国人登録者数

国	男	女	合計
ベトナム	12	30	42
中国	9	22	31
フィリピン	4	28	32
インドネシア	28	3	31
モンゴル	0	3	3
韓国	1	1	2
他	3	1	4
合計	57	88	145

一 般 質 問



たか はし きよ み

高橋清美 議員

道の駅の運用状況は

さらなる改善に努めていきます

質問

リニューアル
オープン後、

1年半以上経過して
いるが各施設の運営
状況と今後の課題は。

町長

コロナ禍の外
出自粛等によ
り、精確な比較はで
きない状況です。8
月から来場者に実施
したアンケートでは、
概ね好評価をいただ
いています。今後は、
アンケートでいただ
いた意見を反映して
いけるよう改善に努
めます。



11月に開催された道の駅リニューアル1周年イベント

質問

選挙公約の「五つの約束」
について、令和4年度は
どのように進めていくのか。

令和4年度における 重点施策と予算は

公約の実現に努めます

① 新型コロナウイルス対策と営業
保障の充実は。

② 子育て支援の更なる充実は。

③ 農林業・商工業への支援の充
実と強化は。

④ 復興事業の総点検と新たな復
興計画の推進は。

⑤ 観光事業の充実と発展は。

町長

① 令和3年9月以降、町
内での新規感染者は発生
していませんが、引き続きマス
ク着用、手指の消毒、換気など、
広報や注意喚起に努めます。現
在、直接間接の影響を受けた事
業所への第4段の支援を行って
いますが、状況に応じて、支援
を検討していきます。

② 町長公約の「学校給食の無償
化」については、財源の確保等
総合的に検討中です。「公園な
ど、子どもの遊び場の整備」に
ついては、認定こども園の改修
後、残された校庭を用いるなど、

検討していきます。

③ 農林業については、新規就農
者の確保、担い手育成のための
相談、支援体制の連携・充実、
鳥獣害被害の防止のための取り
組みを強化していきます。商工
業については、工業団地に誘致
した企業等との連携、イノベー
ションコースト構想を意識した
大学等と連携し、活性化策を検
討中です。

④ 「原発事故から10年目を迎え、
ハード事業からソフト事業への
転換」「家畜飼料作物中心の復
興事業からもっと多くの農家が
参入できる仕組みづくりの整
備」「山木屋地区における先端
技術産業の実証基地の整備と豊
かな自然・歴史・景観を生かし
たりゾート化」の三つの視点で
進め、進捗を管理しています。

⑤ ロードレース大会や川俣シャ
モまつり、コスキンなどのイベ
ント、里山、古閑裕而氏ゆかり
の地であることなど、数多くの
観光資源があります。これを連
携させ、繰り返し、何度も本町
を訪れていただけるような検討
を進めてまいります。

まちの課題を問う



むら かみ げん きち

村上源吉 議員



大幅に価格が下落した令和3年産米

米価下落に支援策を

早急に検討いたします

※12月3日時点。3ページをご覧ください。

質問

一袋(30キロ)当たり2千円を補助すべきと思うが。

町長

令和3年米は、コロナ禍による外食産業の需要の減少などにより、60キロ当たり8300円、令和2年産米に比べ3200円の下落となっております。

「主食用米から飼料用米への作付転換」「収入保険への加入

各大学との連携による新産業創出は工業団地入居企業等と連携しています

質問

①どのような新産業が図られたのか。

②耕作放棄地に歯止めをかけられる事業は検討され、実現できるのか。

③最先端技術産業の実証基地整備の検討はなされて、いつ実現するのか。

町長

①③国県で進めている「福島イノベーションコースト構想」を念頭に置きながら、工業団地入居企業と連携して進めています。中山工業団地では、アサヒ通信株式会社で研修施設と工場増設を、西部工業団地では、ベルグ福島株式会社と研究設備の整備を計画しており、協定を締結しています。新産業の創出について、引き続き検討していきます。

②既存の対策事業に加え、大学との連携により、振興施策を実施しています。近畿大学農学部では、町内農産物を活用した商品開発を、福島大学食農学類では「農林サークル」の川俣班15人に山木屋地区の農業支援やボランティア活動を実施していただいています。将来の新規就農者育成、耕作放棄地の解消につながることを期待しています。

町長報酬カットの使い道は

**感染症対策に
充当されています**

質問

町長の選挙公約で報酬20%をカットしたが、その使い道は。

町長

削減分は、新型コロナウイルス感染症対策のための各種事業、たとえば事業者支援給付金や、遠隔診療環境体制構築実証事業などの事業に充当されており。

町内全施設にWiFiファイ整備は

**※WiFiファイ整備は
地区公民館等から
計画中です**

質問

町長公約の「町内全施設にWiFiファイ整備」の検討はされたのか。

町長

指定避難所等から整備を進めており、地区公民館等などに優先的に整備を検討していきます。

WiFi(ワイファイ) …無線でインターネット等に接続可能にする仕組み

議会に関する アンケート結果

アンケート調査にご協力ください

年齢(10代 20代 30代 40代 50代 60代)
性別(男性 女性)
お住まいの地域
ご回答ありがとうございました

議会改革等に関する調査特別委員会

9月に実施したアンケートには、大勢の方のご協力をいただき、誠にありがとうございました。皆さまのご意見は、今後の調査活動にいかしてまいります。

※誌面の都合上、結果の一部を抜粋して掲載いたします。

※全文は、委員会の中間報告書とあわせて議会ホームページに掲載したほか、各公民館、役場でご覧いただけます。QRコードまたは「川俣町議会 アンケート」で検索してください。

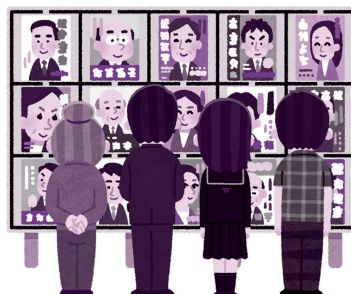
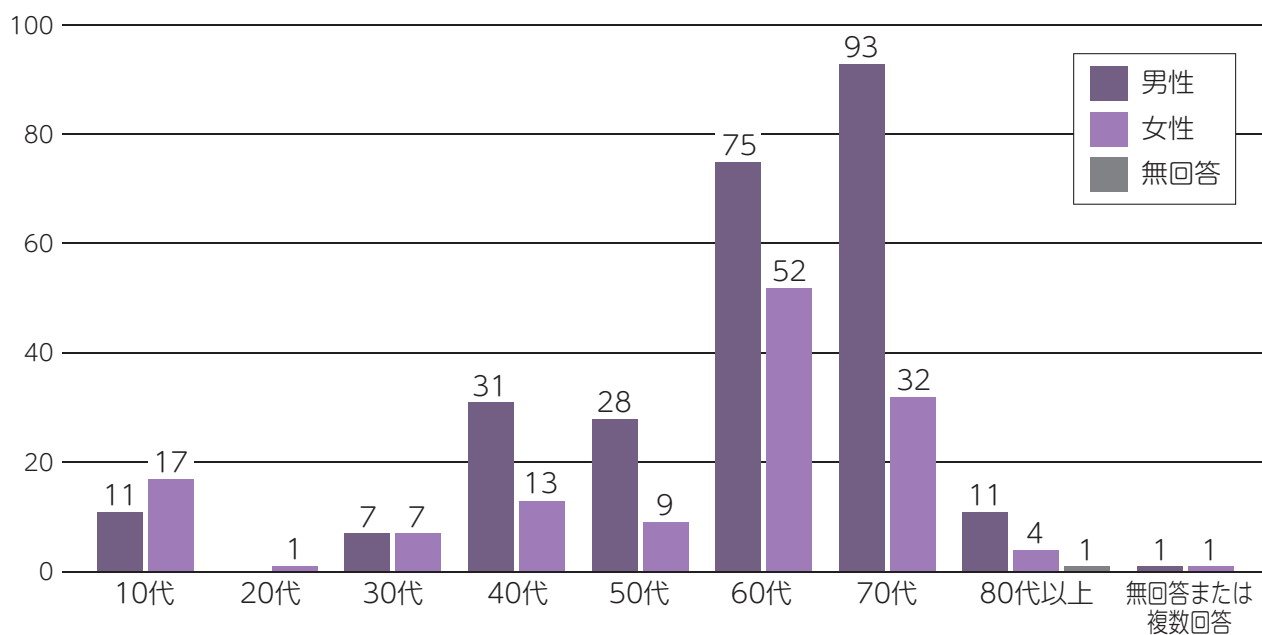


【アンケートの概要】

- 対象 自治会、行政区長協議会、民生委員など、まちづくり関係団体に直接配布のほか、各公民館など公共施設窓口にて用紙と回収箱を設置。川俣高校にも依頼し配布。
- 配布部数 973部
- 回収数 394部(回収率40.5%)

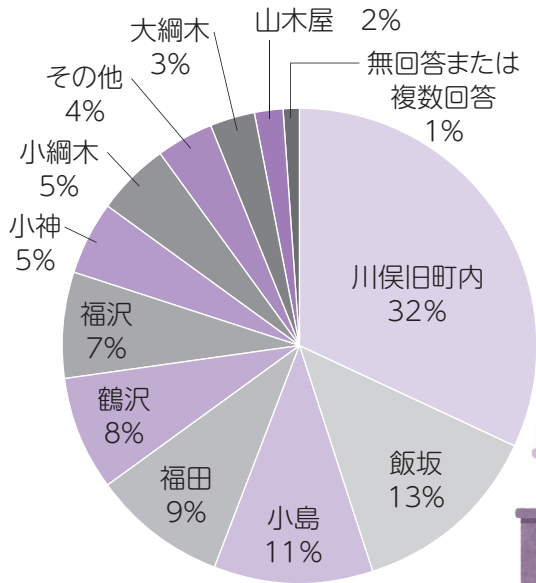
問1、問2

回答者の性別、年齢



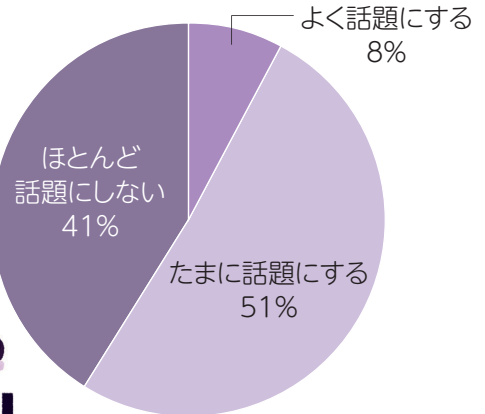
問3

回答者の居住地区



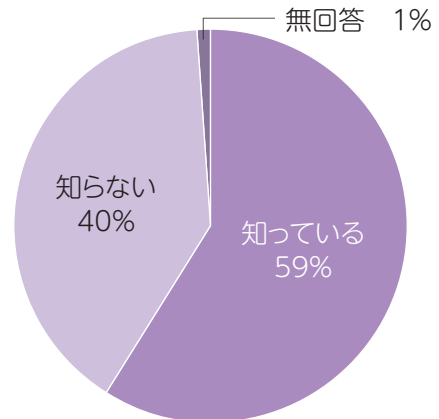
問4

議会で決定した内容や、審議している内容について、話題にしますか。



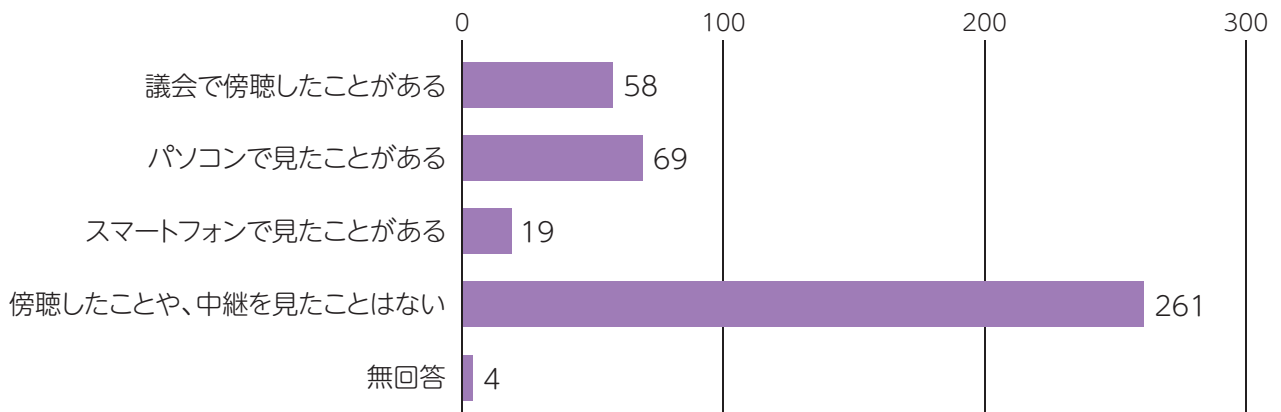
問5

議会定例会の開催月や、緊急に臨時会が開かれることを知っていますか。



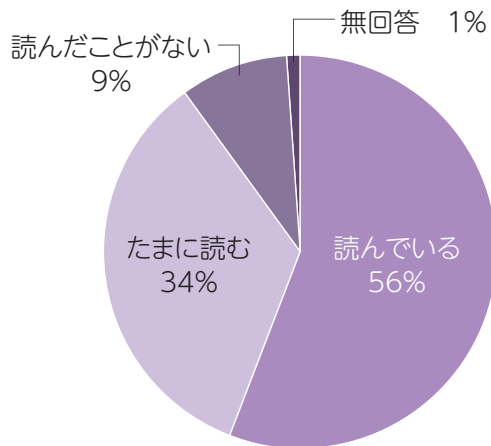
問6

議会を傍聴したり、インターネットで中継をみたりしたことはありますか。



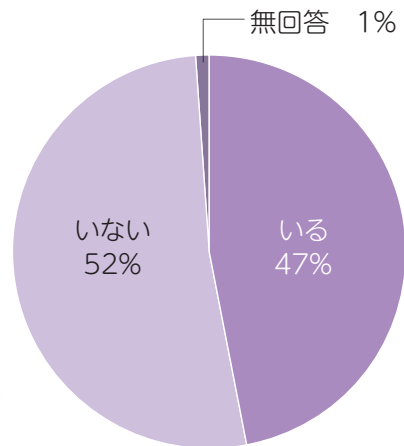
問7

議会だよりを読んでいますか。



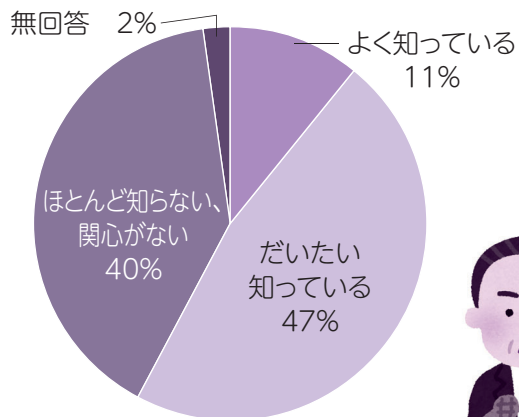
問8

身近に相談できる議員はいますか。



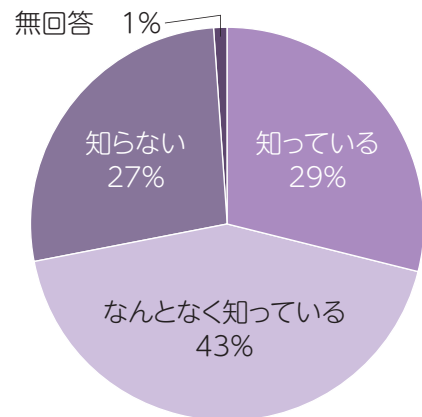
問9

自分の知っている議員が、どんな意見を述べ、賛否に加わったか知っていますか。



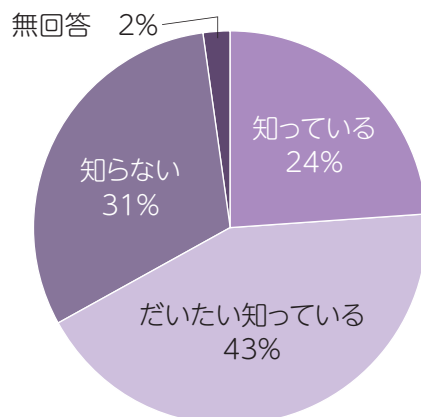
問10

議員が議会のほか、会議や研修会、地域行事に出席していることを知っていますか。



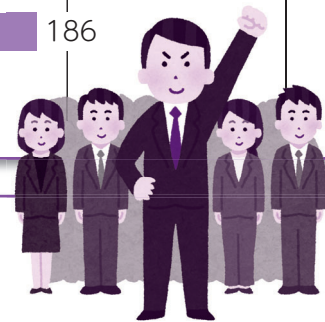
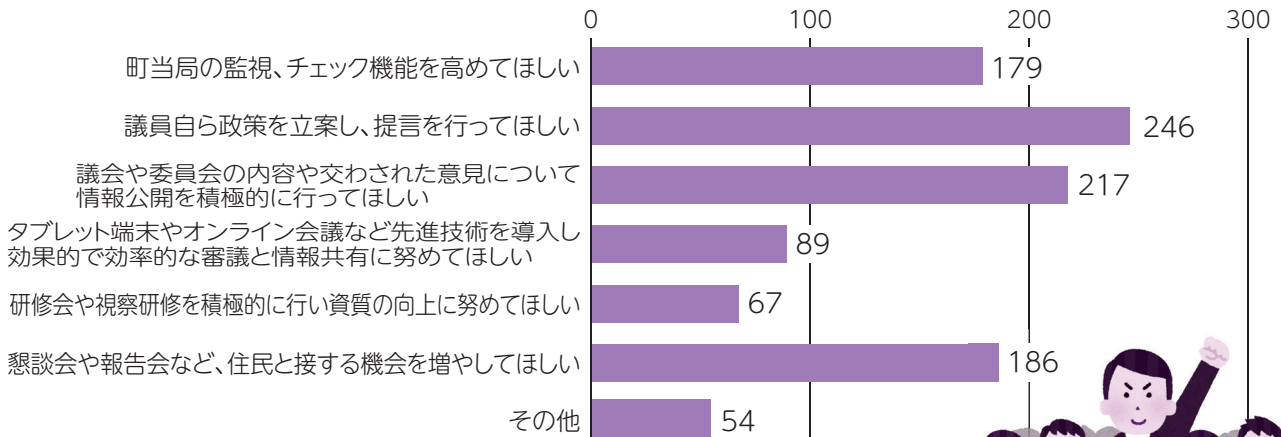
問11

町長が執行権を持ち、議会が議決権を持って、一方が独断専行しないようバランスを保っていることを知っていますか。



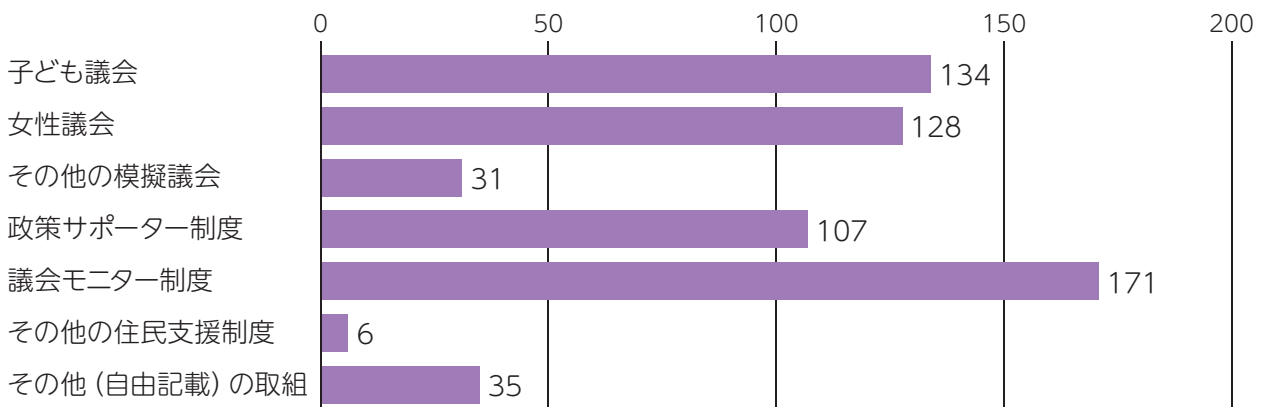
問12

議会や議員の役割で期待することは何ですか。



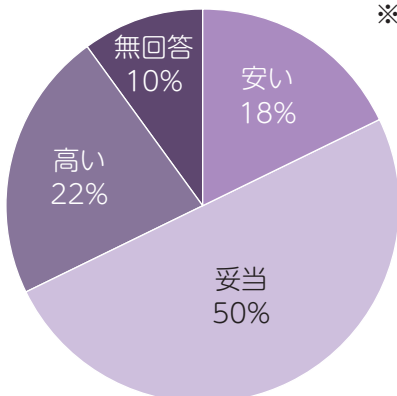
問13

議会が住民の意見を反映させるため、また、議員のなり手を増やすために必要だと考えることは何ですか。



問14

議員報酬月額は妥当だと思いますか。



※報酬月額

議長 338千円
副議長 254千円
議員 228千円



議会改革等調査特別委員会では引き続き、よりよい議会のあり方について調査してまいります。皆様のご協力を、よろしくお願いいたします。

長引くコロナ禍により、直接・間接の被害が拡大していることに伴い、当局が卸・小売業、タクシー業等へも一時金を、川俣シャモ生産者に給付金を支給することとし、提案議案の説明がありました。

さらに、12月定例会で一般質問、意見書があった主食用米の生産者に対する支援や、国が実施する臨時特別給付金も決定され、12月21日に臨時議会が招集され、提案議案の説明がありました。



小規模事業者等への支援

業種	対象件数等	支援内容	議決日
従業員5人以下の小売・卸売業	100社程度	一時金として ・貸貸物件：50万円 ・自己所有：20万円	11月2日 臨時会
タクシー業 貸切バス業	5社程度	一時金として ・タクシー1台当たり10万円 ・貸切バス1台当たり10万円	
川俣シャモ生産者	農家12名 法人1社	支援給付金として 前年比で減産した羽数につき、 1羽当たり500円	
従業員5人以下の医療・福祉事業者等	30社程度	一時金として ・貸貸物件：50万円 ・自己所有：20万円	12月21日 臨時会
主食用として出荷した令和3年米の生産者	180名程度	一袋（30キロ）当たり 300円	

国が実施する臨時特別交付金

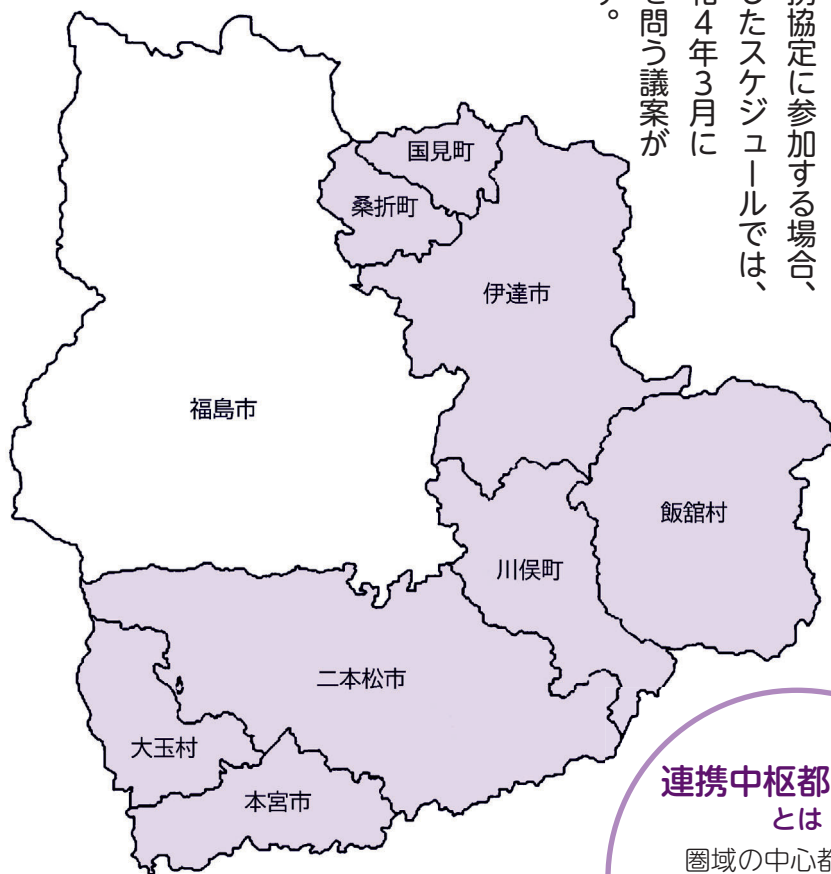
支援の種別	想定人数	支援内容	備考
子育て世帯への臨時特別給付金	*1250人	0歳から高校3年生までの子ども一人につき *10万円を給付	※国の方針変更を受け、当町では、「所得制限なし」「一括現金給付」で対応されます。
住民税非課税世帯等への臨時特別給付金	・住民税非課税の1700世帯 ・家計が急変した世帯200世帯	1世帯につき 10万円を給付	家計急変の世帯は、令和4年9月末までが申請期間です。

きめ細やかなコロナ対策支援

小規模事業所等にも一時金、給付金

全員協議会レポート

福島市を中心とした
連携が想定される市町村



中心都市とその近隣市町村が連携して地域の将来像を描く「連携中枢都市圏」について、その中心都市として、福島市が令和3年12月に宣言する意向が示され、当局からスケジュール等について説明を受けました。川俣町が連携協定に参加する場合、福島市が示したスケジュールでは、早ければ令和4年3月に参加の是非を問う議案が提案されます。

第18回
(令和3年11月1日)
第1回
(令和4年1月13日)

福島市近隣で連携中枢都市圏

福島市が中心都市を宣言

連携中枢都市宣言とは

圏域の中心都市が、近隣市町村と連携して圏域全体の将来像を描き、けん引していくことを宣言するもの。

都市圏ビジョンとは

宣言した中心都市が、圏域全体の中長期的(概ね20年)な将来像を描き、推進する取組をまとめたもの。

福島市の宣言内容

圏域の想定は、二本松市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、飯館村の3市3町2村です。
11月30日に12月議会定例会で福島市長が連携中心都市となることを宣言しました。

川俣町が圏域に参加するには (連携協約締結)

福島市では、令和4年4月からの連携開始を見据えたスケジュールを当町にも伝えました。町が、具体的な取り組みを含む連携協約を、中心都市である福島市と締結するときは、議会の議決が必要となります。



福島市が宣言した中心都市の内容 (PDF)
※福島市のホームページにリンクします

工業団地に入居している2事業者が、それぞれ空き区画に研究施設等を立地させる計画であることが説明されました。アサヒ通信(株)は令和3年8月に、ベルグ福島(株)は令和3年11月に、それぞれ町と立地協定を締結しています。

立地計画の概要

企業	立地	開設予定	計画内容
アサヒ通信(株)	中山工業団地 (鶴沢字中山地内)	R 8. 4月	電気自動車対応のワイヤーハーネス開発、海外スタッフ等の生産実習・研修施設 ※新規雇用30名程度
ベルグ福島(株)	西部工業団地 (鶴沢字雁ヶ作地内)	R 4. 3月	植物ワクチン開発、ワクチン接種苗の実用化のための研究施設 ※新規雇用30名程度

ベルグ福島、アサヒ通信が計画

第18回
(令和3年11月1日)
ほか

工業団地に
研究施設等

総務産業常任委員会

12月7日、請願事項の調査を行いました。鶴沢字川端地内、さくら調剤薬局前の交差点では、事故が多発しているため、一時停止標識を再設置するなどの事故防止対策をとってほしいという内容で、請願者代表の櫻井英夫さんと、地域住民の方から、事情を現地で説明していただきました。



請願の結果は採択と判断し、本会議で報告しました。なお、現地では速やかにカラー舗装の対策が取られています。

活動報告

厚生文教常任委員会

12月7日、遺跡の発掘状況について調査しました。前田遺跡から発掘された遺物は約100万点が川俣高校に運ばれ、整理されているほか、川俣小学校のプール改修に伴い「神宮寺跡遺跡」として約千点の遺物が発掘され、役場西庁舎で整理中です。中央公民館の吉田主任専門員のほか、県文化振興財団の担当者にご説明いただきました。

そのほか、改修中の中央公民館についても進捗状況を現地調査しました。



各委員会の 所管事務調査 (先進地調査)を 中止

12月定例会で各委員会から所管事務調査(先進地現地調査)の実施を議決していましたが、新型コロナウイルスの第6波の影響を考慮し、中止といたします。

【予定していた所管事務調査】

委員会	調査内容	調査内容
総務産業常任委員会	風力発電の設置について	和歌山県和歌山市、兵庫県新温泉町
厚生文教常任委員会	文化財施設	佐賀県吉野ヶ里町ほか



議員がまちの“いま”取材し、レポートします。

まちれぽ

第2回

福沢 (バレーボール) スポーツ少年団

取材は12月10日(金) 午後7時～

- 部員数
小学生11人
- 練習日
毎週月・水・金曜日 午後7時～午後9時
毎週日曜 午前9時～正午
- 練習場所
町体育館、川俣中学校体育館、富田小学校体育館
- 連絡・問合せ
監督の斎藤様 (☎090-6457-5060) まで。



子どもたちの元気な声が飛び交う福沢スポ少

息が白くなる寒さの中、緊張して訪れた体育館では、ネット、ポールを立てる保護者と、ヒザ当てを付ける子どもの姿が。皆さん、笑顔で迎えてくれました。

斎藤勝士監督のほか、保護者の皆さんは、コロナ禍ということで、ボールを一つひとつ消毒しています。翌日が6年生にとっての最後の大会。練習にも熱が入ります。トス、レシーブ、サーブの動作を丁寧に、時に厳しいアドバイスを受けながら行います。斎藤監督は「信頼できる、いい仲間づくりが大切。それは保護者にとっても同じ」と、団全体のチームワークを大切にしているそう。コーチの一人は、広野町から毎回通って指導してくれています。

子どもたちは、「難しいけど、練習を続けると、できるようになる。一人ひとりが上達して、みんなで、点を取れたときはうれしい。」と、週に4回ある練習もぜんぜん気にしていない様子。保護者の皆さんも、パス回しをして楽しんでいるそう。

町内のバレーボールスポ少は年々減少し、今では、福沢だけになりました。監督は、卒業する6年生が中学に入っても続けられればと、バレー部との練習試合なども企画しています。

少子化で団体競技を続けることが年々困難になりつつあります。子どもたちが、機会を失うことなく、やりたいスポーツを、いきいきと続けられる環境づくりについて、もっともっと勉強していきたいと思いました。



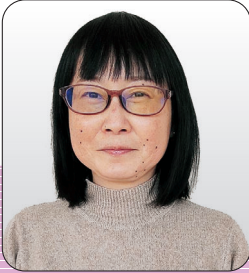
【担当】山家 恵子 広報編集委員



斎藤監督の指導のもとサーブ！（ドキドキ）

町民の声

私のひと言



つながりと 助け合いの 川俣町を

壁沢
小山久美さん

私は、川俣町に引っ越してきてから町の皆さんの優しさに何度も支えられ、大変感謝しています。現在の職場は福島市ですが、町に戻るとホッとしますし、ずっと、町に恩返しをしたい、という気持ちでいます。

私は現在、手話通訳活動をしていますので、福祉の方面でお役に立てばうれしいです。商工会議所の夏祭りで、手話ボランティアをしたことがあります。耳の聞こえない方も一緒に楽しむことができるよう、イベントのお手伝いができるらと思います。

コロナ禍で、デジタル化も進んでいますが、人と人のつながりは必要ですし、根本的なもので、それはこれからも変わらないと思います。川俣町の皆さんの助け合いの精神を大切に、これからも町づくりを進めていってほしいと思います。自分もその一員として、共助社会の川俣町をつくっていかれたらと思います。

議会中継を ぜひご覧ください

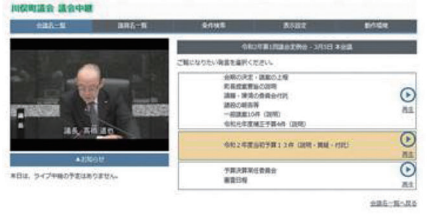
住民アンケート結果（16～19Pに掲載）では、4割の方が「議会の開催月を知らない」と回答しました。

議会は、町の決まりごとや、お金の使い道を決定する重要な「住民意思の決定機関」です。皆さまの暮らしをよくするために、様々な議論や意見をしていますので、ぜひ、議会中継をご覧ください。



議会中継の見方

右上のQRコードでアドレスを読み込むか、「川俣町議会中継」で検索してください。



令和4年の議会日程（予定）

3月定例会

3月3日(木)～16日(水) ※予算を審議します。

6月定例会

6月2日(木)～8日(水)

9月定例会

9月1日(木)～15日(木) ※決算を審査します。

12月定例会

12月1日(木)～7日(水)

また、議会に対するご意見がありましたら、身近な議員または議会事務局（※本誌面の最下段をご覧ください）まで、お寄せください。

編集後記

川俣町の人口は令和2年の国勢調査で12186人となり、前回調査から約2千人減少しました。県内でも2番目の減少率です。その抑制策として、移住定住、子育て支援の施策が重点的に取り組まれています。実際の効果はいかほどでしょうか。

人口の基本は、各家庭の人数ではないでしょうか。世帯数が同じであれば、家族の人数が増えれば、人口は維持されます。外からの移住定住施策だけではなく、各家庭の子や孫たちが町に住むための支援策が重要ではないでしょうか。町単体で見れば、「学校がない」「仕事がない」などの課題はありますが、近隣町村までエリアを広げてみれば、事情は違うと思います。人口減少の最大要因は、町から若者が流出していることです。川俣町を知る、将来を担うべき大切な人材が流出してしまっています。

これからは、町の子どもたちが「川俣に住み続けたいと思うまちづくり」が人口減少対策の最重要ではないかと思いますが、皆さんはどう考えますか。

（作田善輝議員）

◇広報編集常任委員会

- 議長 高橋道也
- 委員 村上清一
- 副委員長 菅野喜一郎
- 委員 佐藤善三
- 委員 山田恵子